

昭和51年1月1日

第104号

編集と発行

鹿児島市広報部
鹿児島市山下町11番1号 TEL 892

市役所でのんわ ②4 1111

かごしま
市民のひろば

市の人口(推計)

(50.12.1)	(前年同月比)
人口総数 458,887人	(+13,260人)
男 216,557人	(+ 6,403人)
女 242,330人	(+ 6,857人)
世帯数 150,446世帯	(+ 5,365世帯)

達
る
磨

少林寺達磨(菩提達磨)は、中国禪宗開祖といわれ、河南省嵩山の故で九年間壁に向つて悟りを開いたいわゆる「面壁九年」の事でよく知られています。だるまは、張り子のがん具、起上り小法師の一つとして、倒れてもひとりで起きる七転八起・縁起物の人形として喜ばれていています。

今年もきびしい年だるまのようにきびしさに耐えて、ながれています。今年もひとりで起きる七転八起・縁起物の人形として喜ばれていています。

この水墨画「達磨」は、鹿児島の生んだ洋画界の巨匠和田英作画伯が大正九年(一九二〇年四十六歳のとき描いたものです。(市立美術館所蔵) 同西伯は、明治七年(一八七四年)当時の垂水村に生まれ、東京美術学校の助教授、教授、校長を歴任、のち日本芸術院会員や文化功労者にえらばされました。『渡頭の夕暮』、『思郷』、『赤い燐寸』や『富士』の連作など、かずかずの名作を残しています。

(「迎春」の題字は川上南溟書)

あけましておめでとうございます。

新年にあたり、市民のみなさんのご多幸を心からお祈りいたします。

昨年は、内外ともに激動の年でありました。

また今年も政治、経済、社会の各方面にわたり、きびしい試練の年だと思います。

私は、このきびしさに耐えて、真に市民のしあわせをねがい、人間性豊かな活力あるまちづくりをめざして、懸命の努力をいたす決意であります。

どうぞ、今年も変わらないご指導とご協力をお願ひいたします。

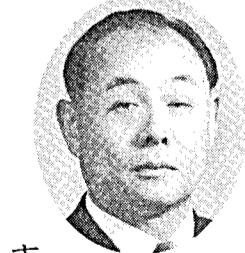
市長 山之口安秀

あけましておめでとうございます。

身も心も引き締まり、すがすがしい気持で元旦の朝を迎えたが、本年の経済情勢も楽観を許さない状況下にあります。

私共市議会議員は、一丸となつてこの難局を乗りこえ、四十五万市民のしあわせのために市政の諸問題に全力をあげて取りくんでまいりますので、皆様の一層のご協力を願い申しあげます。

年の初めに当たり、皆様にとつて本年がよい年でありますよう、心からお祈りいたします。



市議会議長 小島次雄



市政こそこの展望と課題

風格ある地方都市をめざして

わたくしたちのまち「鹿児島市」は、市民の皆さん方のご努力とご協力によって、南九州の中核都市として年々発展を続けて参りました。

ことしも、きびしい諸情勢の中で、いろいろな都市問題を取り組んでいかなければなりません。

新年にあたり、ことしの市政展望し、当面の課題について考えてみましょう。

▽ 昨年は、深刻な経済不況

の中で、市町村や県、国も

ともに予想以上のきびしい

▽ 本市の人口は、昨年の國勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このような人口の急増に

より、都市問題への取り組

みは、より重要なになってい

くものと思います。

▽ 地方行政においては、住民が、安全でより安定した日常生活を送れるように、

生活中心・福祉重視の施策

が、ますます必要になって

いくものと思います。

▽ 過大都市の弊害などから

地方都市の良さが徐々に見

直されていますので、本市

も、中核的な地方都市とし

て発展が期待され、その対

応が必要になるものと思いま

す。

▽ 行政と市民の間に、より

良い連帯と協調が高まり、

住民自治が、さらに深く根

づいていくよう、お互

にたゆまない努力をしてい

かなければならぬと思いま

す。

▽ 高度経済成長下における

地方行政の制度や慣習な

どを、洗い直してみると

より、行政の施策を重点

的に選択し、これからのか

じい地方財政の運営に対

応していくことが必要です

があります。

同時に、国からの補助金

の問題など地方財政制度を

基本的に改善していく必要

があります。

▽ 人口の急増に対処して、

水問題の解決や宅地の確保

を推進するとともに、学校

など教育施設や福祉施設の

建設にも取り組まなければ

なりません。

▽ 日常生活が、安全で快適

に営まれるために、自然保

護・公害・交通・防災対策

を充実するとともに、道路

や環境衛生施設、流通施設

などの基礎的な生活に関連

する施設を整備する必要が

あります。

現在も、いわば暗く冷た

い、しかも長いトンネルの

中にいるといえましょう。

なお、今年の景気は、い

るい的な経済指標の動きか

らりますと、依然として容

易ではないようです。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

勢調査によれば、昭和四十五年に比べ、十三・三ペー

セントも増加して、四十五

万六千八百人をこえ、人口

からみると全国で二十番目

の都市になりました。

このようないくつかの

問題が、今後ますます

重要になってくると思いま

す。

▽ 本市の人口は、昨年の國

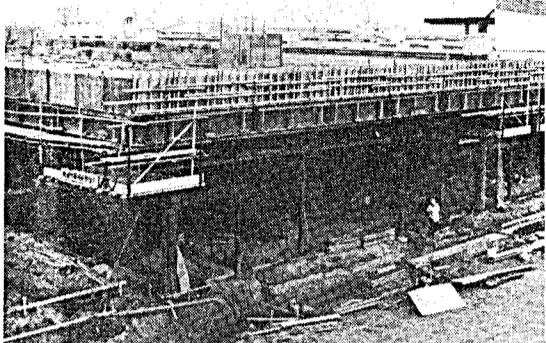
勢調査によれば、昭和四

活力にみちた豊かなまちをつくるには、産業構造の高度化をすすめ、市民が働ける機会を多くして、所得の向上をはかることが基本です。

そのため、中小企業に対する金融制度の拡充、経営の近代化、大島紬などの伝統工芸、地場産業の振興、都市近郊型農業や防災農業などの促進、観光については文化遺産の保護やターミナル機能の充実をはかるなど調和のとれた国際観光保養都市をめざします。



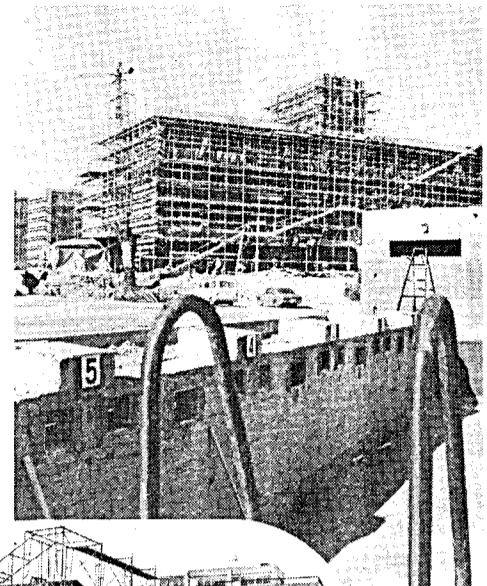
△天文館千日街アーケード



△3号用地に建設中の中央卸売市場（青果市場）

人づくりの原点は教育にあると思います。将来を背負ってたつ青少年が、夢と希望を持ってすこやかに育ち飛躍していくため学校や教育文化施設などの環境整備に努めています。

また、一方人間的な心のつながりを深める地域公民館の設置や郷土芸能の保存や、市民の文化活動の場をひろげて行くなど新しい地域社会と連帯を育て格調ある文化都市をめざし努力しています。

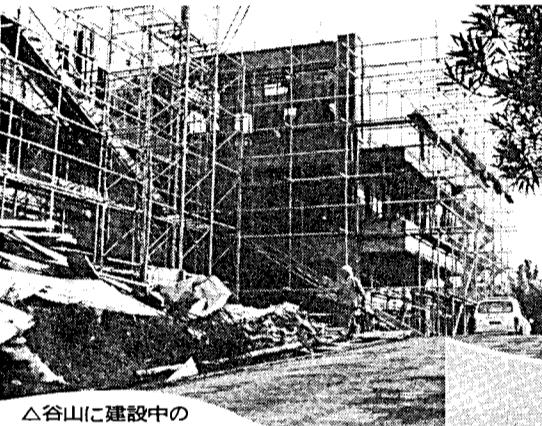
△建設中の武岡小学校（仮称）
△建設中の草牟田公民館（仮称）

着実に街

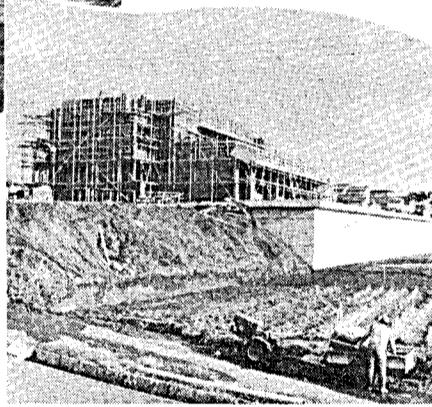
暮らしを豊かにし活力あるまちをつくるために
創造性豊かな人間をつくるために

まちづくり

生きがいのある福祉社会をつくるために
美しい快適な環境をつくるために



△谷山に建設中の軽賃老人ホーム



△建設中の紫原地域福祉館（仮称）



△北部清掃工場建設予定地

心のふれあうるおいのあるまちづくりには、社会福祉基盤の整備が必要です。

お年よりの健康保持や社会参加による生き甲斐対策、老人や母子家庭、心身障害者や児童など社会的に弱い立場にある人たちの福祉施設や制度の充実をすすめるとともに、市民の健康増進や保健衛生面の向上についても努力しています。

個性的で魅力ある美しさをつくるには、恵まれた自然を守り、みどりをふやし、都市環境や交通体系の整備が必要です。

そのために、土地の利用計画や水問題、住宅や緑地の確保、道路や下水道の整備、環境衛生などを生活環境の整備をはかるとともに、公害防止、消防、防災、交通基盤や安全対策などを進めて、快適で住みよいまちづくりをめざします。

